

各地の話題 丸森町

復旧農地を未来につなぐ

2023年6月16日号掲載



令和元年の台風19号によって甚大な被害を受けた同町羽出庭地区では、令和5年3月26日に地元の農業者51名で構成する農事組合法人「美^びファーム^は羽^は出庭^{てにお}」が設立された。

設立総会での集合写真



同地区は典型的な中山間地域で、農業者の高齢化や担い手不足が顕著だった。今年の春に完了する農地の復旧工事に合わせた営農再開を見据え、持続可能な農業経営が可能となる集落ぐるみによる農事組合法人の設立を目指してきた。

1年以上前から検討を重ね、農地の借受面積は約16.5㌦と規模は小さいが、水稻と野菜、果樹を組み合わせることで収益を確保し、地域内の農地を良好に管理していくことを目標としている。

同法人代表の^{おおつきしげゆき}大槻重行さんは、「地域は被災したが、この法人の活動を通じて、

いつまでもみんながこの地域で幸せに暮らせるようにしていきたい」と前向きに語る。

代表の大槻重行さん



復旧後初めての田植えの様子



【記事提供】丸森町農業委員会